

	<h2>23区唯一の大規模な群生地 「清水山の森」でカタクリが見ごろを迎えています</h2>	
<p>とき</p>	<p>3月28日撮影(見ごろは4月中旬頃までの見込み)</p>	
<p>ところ</p>	<p>清水山の森(大泉町1-6)</p>	
<p>23日にオープンした、23区唯一の大規模なカタクリ群生地「清水山の森」(大泉町1-6)で、カタクリが見ごろを迎えています。</p> <p>「清水山の森」は、区民からの寄付を原資とした「練馬区みどりを育む基金」を活用し、トイレなどの人工物をできるだけ作らず、自然を残した公園として整備しました。</p> <p>園内には武蔵野の雑木林が残されており、カタクリを始め、キツネノカミソリ、ヤマブキソウなどこの付近でも数少なくなった野草も見ることができるほか、「東京の名湧水57選」に選ばれた湧水も流れています。整備によりこの貴重な生態系や自然環境を次世代へ継承します。</p> <p>現在、見ごろを迎えているカタクリは、晴天の日中に気温が上がると開花し、夕方には閉じる性質があります。また、開花には天候も影響し、曇り・雨天・寒い日は、花びらを閉じてしまいます。このため、カタクリ鑑賞は、天気の良い暖かい日中が適しています。ぜひ、「清水山の森」にお出かけください。</p>		
		<p>見ごろを迎えたカタクリの花</p>
		<p>群生して咲くカタクリ</p>

【施設概要】

- 面積：10,640.38㎡
- 開園時間：終日。カタクリ開花期開放区域(右図参照)は、午前9時から午後5時(4月中旬頃まで)。
- 交通：西武バス・国際興業バス(石神井公園駅北口～成増駅南口、光が丘駅～土支田循環)で「土支田二丁目」下車徒歩約3分、練馬区みどりバス(光が丘駅～保谷駅)で「土支田地域集会所」下車徒歩約4分(駐車場はありません)



【開花時期にはカタクリガイドが常駐し解説】

カタクリの開花時期にあわせて、カタクリの生態や憩いの森に生息する植物について解説する「カタクリガイド」が常駐しています(4月中旬頃まで。毎日午前9時～午後5時)。ガイド解説を楽しみに毎年訪れる人も多く、去年は期間中に約4,000人が訪れました。ガイドは現地受付で予約は不要です。

【参考】カタクリについて

カタクリはユリ科に属する多年草で、冬から早春にかけて陽光が降り注ぐ、湿り気のある落葉樹林に見られます。通常、北向きの斜面林に多く見られます。カタクリは、種子から花が咲くまでに7～8年かかり、草丈は10cmほど。2枚葉を出し、2枚の葉から出る茎の先に花をつけます。花は通常薄紫色で下を向き、6枚の花びらを外に反り返らせて咲くのが特徴。一株の開花期間は一週間程度で、例年、3月下旬から4月上旬にかけて咲きます。